

にいがた

畜産協会たより

公益社団法人

新潟県畜産協会

新潟市西区山田2310-15
全農にいがた第2ビル内
TEL.025-234-6781～6783



シャングシャング馬（胎内市下赤谷地区）

目次

- ◆ ～伝統の復活！シャングシャング馬～ … (2)
- ◆ 令和6年度畜産経営診断指導実施結果 … (4)
- ◆ 畜産物価格の状況推移について … (5)
- ◆ 令和7年度定時総会報告 … (6)
- ◆ にいがた和牛推進協議会総会報告 … (6)
- ◆ ～にいがた畜産女子会キャラクターと行く～
会員さんのお仕事拝見します！…… (7)
- ◆ 畜産安心ブランド生産農場だより … (8)
聖籠町：有限会社さとうファーム 佐藤修身
- ◆ 編集後記 … (8)



胎内市下赤谷集落 伝説の復活！ シャングシャング馬



2015年に復活した胎内市下赤谷集落の伝統行事を取材しました。

当協会は、家畜とふれあい、畜産及び畜産物の普及啓発を図ることを目的として馬事畜産振興協議会を運営しています。協議会では県内で行われている家畜に係わる伝統行事等の開催保存等を支援するために、地方競馬全国協会の補助を受けて「家畜に係わる伝統行事等保存推進事業」を実施しております。

令和7年4月18日（金）胎内市下赤谷地区の伝統行事「シャングシャング馬」が行われました。

「シャングシャング馬」とは、春の訪れと農作業開始を告げるこの地域の祭典で、鳥坂神社という歴史ある神社で牛馬の祈禱や厄除けが行われます。

鳥坂神社は昔「馬頭観音堂」とよばれた五穀豊穡と牛馬の安全の守護として有名な神社です。かつては北蒲原岩船両郡に多数の崇敬者があり、「シャングシャング馬」は北越の地では珍しい盛大な馬の祭典でした。4月に行われていたその例祭には、馬飼育農家は皆農作業を休み、馬を連れてお参りをしました。



最盛期には数十頭のシャングシャング馬で賑わい、土産物屋が軒を並べ、村内だけでなく近郷の町村からも人が訪れる春ののどかな風物詩でした。

しかし、農機具の目覚ましい発展によって約60年前にこの祭典は姿を消してしまいました。

胎内市で養老牧場を営む「松原ステーブルス」（代表：松原正文氏）の呼びかけにより、下赤谷集落の方々と共に2015年（平成27年）に3頭の練り歩きから現代版として、伝統の復活となりました。

この祭りの名前は、馬の装飾に取り付けられた鈴が奏でる「シャングシャング」という軽やかな音色からきています。

当日は松原ステーブルスさんや下赤谷集落の皆さんをはじめ、新発田農業高校の生徒さんや地元の保育園児・小中学生のみなさんなどが参加しました。



鈴のついた衣装



みんなで練り歩きに出発！

道の駅「胎内」河川公園をスタートし、鳥坂神社までを練り歩きます。

華やかに飾り付けられた馬たちの練り歩きは観客を魅了していました。



練り歩き

【今回のスケジュール】

- 集合：道の駅「胎内」河川公園
- 10：15 挨拶、趣旨案内
- 10：30 練り歩き、鳥坂神社へ
- 11：00 駆け上り
- 12：00 参拝・休憩
- 13：30 駆け上り
- 14：00 下山、河川公園へ





鳥坂神社に到着

鳥坂神社に到着し、**駆け上り**が始まります。

神社では馬が坂の上にある境内まで一気に駆け上ります。
駆け上りは午前2回、休憩をはさみ午後2回行われました。

復活してから11年目を迎えたばかり、見学者がたくさんいらっしゃいました。



駆け上り

みなさん圧巻の駆け上り

駆け上りには松原ステープルスの方々をはじめ、開催関係者のみなさん、新発田農業高校の生徒さんなどが参加しました。

活気ある馬を引く人の掛け声と見学者の歓声が祭りを盛り上げていました。

馬が坂を駆け上る姿はまさに圧巻で、人と馬が一体となって駆け上っていく姿に胸が熱くなり応援せずにはいられませんでした。



みんなで一致団結



松原正文氏は元ジョッキー



人間だけで駆け上りも

最後にシャングシャング馬へ想いを（一社）胎内市観光協会の須貝専務理事に伺いました。

「胎内市下赤谷集落に息づく伝統の祭り「シャングシャング馬」。かつては集落の人々の暮らしに根ざし、地域の結束と繁栄を願う神聖な行事として受け継がれてきました。

時代が変わる中で、この祭りも形を少しずつ変えながら、現在の私たちの暮らしに溶け込むものへと進化を遂げています。

しかし、その本質は決して失われることなく、馬の軽快な足取りや鈴の音に込められた願いは、今も変わらず地域の人々の心に響いています。

私たちは、この祭りの価値を再発見し、伝統を大切にしながらも、現代ならではの新たな魅力を加え、より多くの人々にその素晴らしさを伝えていきたいと思っています。

未来に向けて、「シャングシャング馬」がさらに多くの人々とつながる祭りとなるように。過去と現在が交差するこの舞台を、地域の誇りとして守り続けながら、新たな形で輝かせていくことこそが、私たちの使命なのかもしれません。

共に歩み、共に響く鈴の音が、胎内市の未来を照らし続けることを願っております。」

須貝専務理事様ありがとうございました！



駆け上りお疲れ様でした

最後にお伝えしますと、この祭典は鳥坂神社のご本尊が様々な歴史を経たのち再び祭祀されるようになった4月18日に行うそうです。

来年は土曜日開催です。ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。



最後は河川公園で解散

【お問い合わせ】

（一社）胎内市観光協会、道の駅「胎内」

〒959-2806 新潟県新潟市下赤谷387-1

TEL：0254-47-2723 FAX：0254-47-2737

URL：http://tainai.info/



令和6年度畜産経営診断指導(畜産コンサル)実施結果

令和6年度の畜産経営診断指導（酪農経営8戸、肉用牛繁殖経営4戸、肉用牛肥育経営3戸、養豚経営5戸）の技術及び経営成績を県指標値と比較し、改善方策等を整理しましたので紹介します。なお、詳細は当協会ホームページに掲載しておりますので、併せてご覧ください。

【酪農経営】

飼料価格が高止まりしており、平均乳飼比は昨年の64.6%に続いて63.9%と高い水準でした。

経産牛1頭当り乳量は平均9,655kgと昨年（9,379kg）からさらに向上し、平均値が県指標値（9,500kg）を超えるに至りましたが、平均所得率は6.7%と昨年（6.3%）に続き厳しい情勢です。

一方で令和5年8月の乳価値上げに伴い、集計期間がそれ以降の経営にあっては乳飼比平均59.1%と好転の兆しも見られます。

コスト高騰を転嫁して上昇した販売乳価を経営に反映させるため、乳量・頭数の確保が重要です。

とりわけ、暑熱期において経産牛の廃用事故や生産乳量の減少、乳質の悪化、繁殖障害が多発しています。猛暑による影響が大きいことから、暑熱対策設備の整備・充実への優先度が高まっています。

区 分	単位	6年度	指標値
乳 飼 比	%	63.9	50以内
経産牛1頭当り産乳量	kg	9,655	9,500以上
経産牛平均分娩間隔	ヶ月	15.2	14以内
経産牛平均種付回数	回	2.3	2以内

【肉用牛繁殖経営】

平均分娩間隔は14.2ヶ月と指標値の12ヶ月から大きく遅延しており、また、子牛事故率も8.6%と指標値の3%を大幅に上回っていることから、子牛生産率の低下による収入の減少が懸念されます。子牛の頭数を確保するためにも、母牛の観察強化による適期授精や、母子ともに飼養管理・衛生管理等に注意が必要です。

区 分	単位	6年度	指標値
平均産歴	産	3.7	7以上
平均分娩間隔	ヶ月	14.2	12以内
受胎に要する種付回数	回	1.9	1.5以内
子牛事故率	%	8.3	3以下

【肉用牛肥育経営】

枝肉格付4等級以上率で指標値を達成している一方、出荷月齢は指標値を超えており、1日当り増体量も指標値をやや下回ったことから、コスト低減や回転率向上による収入増加を図るためにも、飼料給与体系の見直し等により増体量の向上を図る等、早期出荷の検討が重要です。また、事故率も指標値を上回ったことから、衛生管理強化等の対策も必要です。

区 分	単位	6年度	指標値
出 荷 月 齢	ヶ月	29.4	28以内
1日当り増体量	kg	0.83	0.85以上
枝肉格付4頭級以上率	%	93.9	80以上
事 故 率	%	4.5	2以下

※すべて去勢牛の成績

【養豚経営】

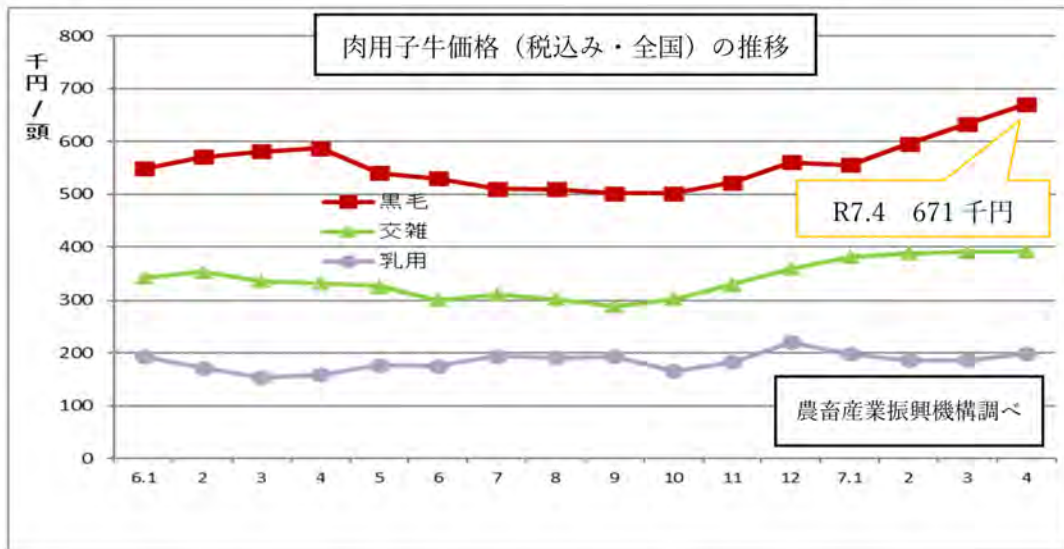
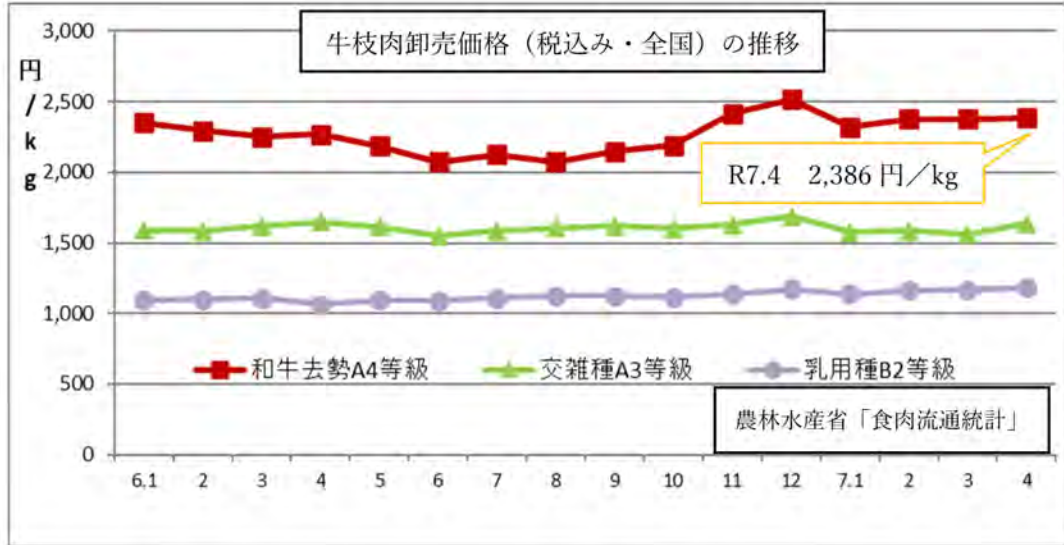
離乳から受胎平均日数及び分娩間隔は改善傾向にありますが、経営により差が出る結果となりました。改善が遅れている経営では、離乳後の発情再起の遅れが主な要因であることから、母豚の栄養管理など飼養管理徹底、母豚更新の判断を的確に実施するなど基本的事項の徹底を図る必要があります。

肉豚平均事故率も改善傾向にあり、母豚1頭当り肉豚出荷頭数が増加しています。疾病に対する経営体の防衛意識の向上、換気・水洗・消毒の強化など豚舎衛生状況の改善、ワクチンプログラムの見直し等が結果として表れています。

区 分	単位	6年度	指標値
離乳から受胎平均日数	日	13.2	12以内
分 娩 間 隔	日	150.9	150以内
肉 豚 平 均 事 故 率	%	4.3	5以下
母豚1頭当り肉豚出荷頭数	頭	25.5	22.8以上

畜産物価格の状況推移について

飼料・資材高騰を始めとした様々な要因が大きく変動している昨今の情勢に伴い、直近の情報を提供いたします。



国産の牛乳、お肉、卵を食べてまもろう

畜産物を生産するためのコストが上昇しています。皆様に国産の畜産物を食べていただくことが生産者の応援に繋がります。

公益社団法人
中央畜産会
公益社団法人 × 新潟県畜産協会

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。

令和7年度定時総会報告

令和7年度定時総会を令和7年6月30日に新潟市西区の全国農業協同組合連合会新潟県本部ビルで開催しました。内容は以下のとおりです。

1 議事の経過

出席会員数

正会員47名中、本人出席18名、書面出席29名の全員出席により、令和7年度定時総会が成立しました。

2 会長挨拶

3 新潟県農林水産部神部部長祝辞

4 議事録署名人の選任（2名）

- ・新潟県農業信用基金協会
専務理事 小幡 浩之 氏
- ・(一社)新潟県配合飼料価格安定基金協会
常務理事 玉木 勇 氏

5 提出議案

- 第1号議案 令和6年度事業報告及び収支決算報告について
- 第2号議案 理事2名辞任に伴う選任について
- 第3号議案 令和7年度会費について
- 第4号議案 役員報酬の決定について
- 第5号議案 公益社団法人新潟県畜産協会定款の一部変更について

附帯決議

6 報告事項

- 報告事項1 令和7年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
- 報告事項2 資金運用規程に基づく資金運用の状況等について（令和6年度）
- 報告事項3 資金運用規程に基づく令和7年度資金運用の執行方針及び計画案について

● 結果の概要

提出5議案と附帯決議は出席者全員の挙手と書面による賛成で原案どおり成立し、報告事項も全員の了解を得ました。なお、総会終了後に開催した臨時理事会で専務理事を互選しました。



伊藤会長挨拶



祝辞を述べる
神部新潟県農林水産部長

【新役員】

- 理事 阿部 渉
(新潟県農林水産部畜産課長)
- 理事 朝比奈 均
(学識経験者/
前新潟県新発田地域振興局農業振興部長)



総会の様子

にいがた和牛推進協議会総会報告

にいがた和牛推進協議会（会長 花角英世知事）は、6月3日に新潟市西区の全国農業協同組合連合会新潟県本部ビルにおいて総会を開催し、委任状を含め21会員中20会員が出席しました。

高野副会長（全国農業協同組合連合会新潟県本部長）が議長を務め、提出された収支決算、収支予算等5議案はすべて原案どおり承認され、役員改選では次の4名が選任されました。

役 職	氏 名	所 属
副会長	高野 洋	全国農業協同組合連合会 新潟県本部長
	鈴木 勝也	株式会社三国 取締役会長
監 事	萬羽 博文	新潟県家畜協同組合 理事長
	難波 英洋	えちご中越農業協同組合 常務理事



総会の様子



～にいがた畜産女子会キャラクターと行く～ 会員さんのお仕事拝見します！

みなさんこんにちは。レポーターのSです。今日は、にいがた畜産女子会キャラクターとり江さんと共に燕市道金にある(有)ツバメファームの自動販売機に来ています。



この自動販売機は会員清水さつきさんのご実家が経営されているツバメファームの鶏舎近くにあります。たまごの自動販売機とは何か？以前からとても気になっていました。初めて行きましたが、道路に面していて駐車場も有り、車で来やすいです。次から次へとお客様がやってきます。



たくさんのロッカーですが、一日に何度も補充するそう



卵の特徴を説明した看板

たまごはアスタ卵、ごま卵、えごまたまご、活性卵と4種類あります。どれも味や栄養素が違うそうです。中でもアスタ卵はアスタキサンチンを摂取することができます。えごまたまごは名の通りえごまを食べた鶏から採れた卵で、あまり数がとれない貴重な卵だそうです。

ツバメファームの鶏はみんな活性水を飲んでます。

さて、卵を買ってみましょう。まず、お金を入れて購入したい場所のロッカーのボタンを押すと、扉が開いて卵が取り出せます。

早速買ってみましょう！



①お钱を入れる



②ボタンを押す



③取り出す

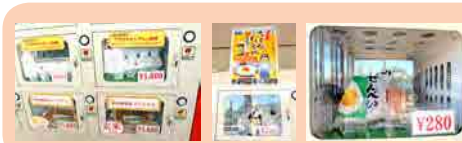


自販機は買いやすいので家族のお遣いでやって来るお客様も多いそう

生卵以外も売っています。気になったのがゆで卵。さつきさんのお父様の眞佐夫社長が自ら作っており、夕方セットしたら朝方にはほぼ完売しているそう。24時間営業（ちなみに年中無休）だから夜小腹が空いている時にサクッと立ち寄って買えるのはいいですね。



そのほかにもおせんべいや卵かけご飯用の醤油、お米などが売っていました。来てくれたお客様にワクワク楽しんでもらいたいという社長のアイデアだそうです。➡



ロッカーの中の商品を見るのが楽しい♪



A.人気の「もりたま」 B.箱は重ねることができる

そして自動販売機で一番売れているのが「もりたまご（通称「もりたま」）」（写真A）。様々なサイズの卵が袋にどーんと入っており、スーパーには決してないビジュアル。お得な上に大きさ別に料理に使い分けができますね。自動販売機には遠方からもお客様が来られるそう。

大量買われる方のために社長が考案した、もりたま用の箱（別売り）（写真B）に入れると一段とスタイリッシュになります。このまま贈答用にするのもいいですね。シンプルな作りだから簡単に組み立てられますよ。エコで環境に優しいのもいいですね。



店内はたまごを置く専用の台があるなど至るところにきめ細やかな気配りを感じます

実はさつきさんだけに取材しようと思っていたのですが、「ぜひ父の話も聞いてみて」と言っただけ、社長も温かく取材に応じてくださいました。

お話を聞く中で、社長のお客様へのきめ細やかな気配りや、さつきさんたちご家族に対する愛情の深さを感じました。



お父様の眞佐夫社長とさつきさん

社長がおっしゃっていた「良いものを安くではなく、買いやすく」

取材後、自動販売機に戻り買い物をしましたが、お客様がひっきりなしに来るのってそういうことかとわかったような気がします。

自動販売機って売っている人の顔は見えませんが、人柄って自然と伝わってくるものなのだとしみじみ感じました。

さつきさん、お父様、ありがとうございました！



S：とり江さんも今日はありがとうございました！

買ったたまご、大切にいただきます。(S)

(有)ツバメファーム（自動販売機）
住 所：新潟県燕市道金485
電話番号：0256-64-2732
営業時間：24時間（年中無休）

HP Instagram facebook

©燕市ふるさと納税の返礼品もやってます！

畜産安心ブランド生産農場だより

有限会社さとうファーム
専務取締役 佐藤 修身

私どもは1985年聖籠町にて“さとう養鶏”として創業しました。養豚のために建てられた古い畜舎に数百羽の鶏を入れ、平飼いで飼育を始めました。鶏たちは鶏舎から自由に外の遊び場に入りができ、畜舎のそばにあった葡萄棚の下で元気いっぱい雑草等をついばんでいました。昔ながらの農村の一場面を見るような牧歌的な養鶏が原点でした。

当時（1970年代後半から80年代前半）の日本では「水俣病」や「イタイタイ病」等の公害問題が発生し工業化社会の負の側面に気づき始めた時代でした。そのような中、身近な食品である農畜産物にも目が向けられるようになりました。有吉佐和子著「複合汚染」はベストセラーとなり、農薬漬けの農畜産物に対する不安が広がりました。人々は「安全で安心」な食べ物を求め『自然食ブーム』が到来しました。

大きなムーブメントを追い風として「平飼い卵」に対するニーズも高まり、私どもも生産規模を拡大、農場を村上市に移転しました。生協さんや消費者グループから求められたのは、より「自然な卵」でした。それは、平飼いで飼育された、ポストハーベスト・フリー（収穫後無農薬）でありNon-GMO（非遺伝子組み換え）の飼料を与えられた鶏が産んだ卵です。

創業から40年が過ぎました。今また「平飼い卵」は、



新たな方面からスポットライトを浴びています。近年欧米諸国からの新たな価値観の創出ともいえる「SDGs」や「アニマルウェルフェア」に即した農畜産物を生産することが日本でも求められています。そのような価値観に即した商品として「平飼い卵」は注目を集めています。

鳥インフルエンザの猛威に見舞われたここ数年来の養鶏業界にあっては、今後ともその対策が最も重視されるべき経営課題であり続けます。同時に、卵そのものに付加価値を加えることが可能な生産方式として「平飼い」が見直されてほしいと考えています。



編集後記

今回、女子会記事の取材で「有限会社ツバメファーム」さんにおじゃましました。私も卵を購入させていただいたのですが、卵の種類でこんなにも風味が違うのだと感動しました。そして貴重なお話を聞くことができました。

普段は内勤が主な私ですが、現地に赴いて話を聞くことや物に触れることがいかに大切かをしみじみと感じた取材でした。

まだまだ知らないことだらけなので、これからも積極的に出掛け、自分なりに県内の畜産の新たな発見や発掘をしたいと思えます。（にいがた畜産女子会キャラクターのコーナーは不定期で続けていきたいと思えます。）キャラクターたちの活躍にご期待ください！（編集担当：鈴木）

バベット作ってみました。徐々に他の仲間も作っていきたいです。



(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる! 畜産! 8

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！
配信中の内容：総集編 思いが繋ぐ畜産の未来／明るい未来へ向けて畜産DXの取り組み／乳用牛改良の取り組み／地域ぐるみで国産飼料生産！ ほか



◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



(公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846

